

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		中学校空調設備整備事業						予算事業名		空調設備整備事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令				
				10	03	03	2002	経常経費					
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文						事業の区分		主要事業			
		4-1生きる力を育む教育環境づくり (学校教育)								重点事業			
		②安心して学べる学校づくりの推進						担当課係等		学校教育課			
1学校施設・設備の充実						施設係							
事業期間		継続 (平成30年度～令和 3年度)											
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
生徒が快適に学ぶことができる夏期の学習環境の整備を図る							設置済 (古河市, 筑西市, 常総市, 五霞町, 境町, 小山市) H30設置 (下妻市, 坂東市) R1 以降設置 (八千代町)						
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】						
エアコン設置 ・全3校の普通教室, 音楽室 (H30～R1) 実施設計委託, 工事監理委託 エアコン設置, 受変電設備改修 ・全3校の特別教室, その他教室 (R3) 実施設計委託, 工事監理委託 エアコン設置改修							生徒及び教職員						
							【事業をとりまく環境の変化】 ・猛暑日が年々増加する中, 熱中症予防など健康面への配慮や授業に集中できる環境の改善要望が学校及び保護者から多く寄せられている ・H28.8.4子ども議会 「学校のエアコン設置について」の質問 ・学校環境衛生管理マニュアル[平成30年度改訂版]において, 快適に学習する上で維持されることが望ましい温度の基準が夏季は30℃以下から28℃以下へと改正された						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
・全3校の特別教室, その他教室 実施設計委託, 工事監理委託 エアコン設置改修													

■事業費

		R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	30,443	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	142,200	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	7,201	0			
歳 入 計 (千 円)		179,844	0			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	12 委託料	2,948	0			
	14 工事請負費	176,896	0			
歳 出 計 (千 円) (A)		179,844	0			
伸 び 率 (%)			皆減			
備 考	総合計画 115ページ 予算書 ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	エアコン整備率	%	目標	100.00	0.00	0.00
	普通教室		実績	100.00	0.00	0.00
	エアコン整備率	%	目標	0.00	0.00	100.00
	特別教室, その他教室		実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の手法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	機器の選定や工法を十分に検討する時間がない中、現状における最善の手法で進められた。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全校において同時期に整備されたため、偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	最も需要の高い夏期に間に合い、効果は非常に高い。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	学校や業者の協力もあり、順調に進められた。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
近年の猛暑対策のため、緊急的に開始した事業となり関係機関との調整や財源確保等の課題があったが、国庫補助金の活用や入札方法の柔軟な対応等、市が一丸となり進めた結果、非常に効果の高い事業となった。 今後は、夏期だけでなく冬期においてもエアコンの使用頻度が高まることから、効率的な稼働による光熱費削減への配慮が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
普通教室への整備は完了したが、特別教室やその他教室（会議室等）への設置要望は依然として高く、早急な整備が必要である。 整備にあたっては、事業費の高騰を防ぐため、学校との調整により設置教室の選定及び施工方法や機器についてのコスト削減に向けて検討をしていく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 国庫補助金を活用し、未整備の特別教室へのエアコンを整備することで、生徒及び教職員の教育環境の改善を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	